

## 令和8年度 入学式 式辞

本日、公立千歳科学技術大学の新生として、理工学部にも編入学生も含めて、264名の学部学生。理工学専攻には、博士前期課程及び博士後期課程の大学院に、47名の大学院生を迎えられたことを大変喜ばしく思っております。新生の皆様、そして、保護者並びにご関係者の皆さま、ご入学おめでとうございます。本学教職員を代表しまして、ご入学を心からお祝い申し上げます。

さらに本日は年度初めの大変お忙しい中、千歳市長 横田 隆一様、千歳市議会議長 松倉 美加様。さらには、北海道議会議員、千歳市議会議員、千歳市の職員の皆様、そして本学関連の企業、並びに教育機関の皆様など、日頃ご支援頂いております、多くの皆様をご来賓としてお迎えすることができました。誠にあつく感謝申し上げます。

本学は、理工学分野の単科大学となります。理工学とは、理学と工学の融合した、幅の広い分野の学問を対象とします。理学は、あらゆる自然領域における探求であり、工学は、未来社会を作り上げる創造が、その学問の根底にあります。

ここで、本学の理念についてお話したいと思っております。この理念とは、本学の基本的な考え方です。

1つ目は、公立千歳科学技術大学は、理工学分野をはじめとする幅広い教育と研究を通して、高い知性とすぐれた人格を有する世に有為なる人材を育成するとともに、学術・産業の振興に貢献する。2つ目として、知の拠点として大学が有する人材と知恵を社会に提供し、地域との共生を通して、社会とともに発展する大学を目指すことです。

皆さんには、理工学における、幅広い分野の学問を学び、優れた研究成果をあげ、その内容を、社会に還元し、より豊かな世界の実現に向けて大きく貢献してほしいという思いが、この理念に含まれています。また、地域との共生とは、大学における教育・研究・社会活動が、地域の発展に貢献し、皆さんも含めた我々すべてが、地域とともに成長することを意味します。勉強だけの学生生活ではなく、様々なことに興味を持ち、失敗を恐れず、幅広くチャレンジをしていただきたいと思っております。

皆さんに本学と我々を取り巻く環境について、少々お話をさせていただきます。最

近、様々なメディアを通して、人工知能或いは AI という言葉を聞くのではないかと思います。この他にも、半導体、データセンター。さらには、デジタルトランスフォーメーションやグリーントランスフォーメーション、いわゆる DX と GX という略称で多数報道されています。AI は、かなり実用化が進んでおり、従来からあった音声認識や多言語への翻訳だけではなく、文章の自動生成や、画像・映像の自動生成までも簡単に行うことができるようになっていきます。AI は、高度 DX 領域における先端技術の 1 つであり、我々の身近になりつつあります。この技術を支えるためには、AI のプログラムだけではなく、大規模なデータセンターや超並列演算を実現するサーバが必要です。それを構成する重要なハードウェアが、半導体になります。これらの装置は、大量にエネルギーを消費します。そのため、環境にやさしいエネルギーを供給できる新しい高度 GX 技術も注目されています。実は、これらの先端技術は独立したものではなくて、どれも密接に関係しています。

本学では、この先端技術の基本を習得します。皆さんには、全ての先端技術とは言いませんが、どれか興味を引く最先端を、是非学んでいただきたいと思えます。

本学では、令和 7 年度から、文部科学省からの補助金である、大学・高専の機能強化プログラムにより、大学院の拡充を始めました。完了までの期間は 10 年ではありませんが、大学院の新しいカリキュラムは、すでに始まっており、それに合わせて、新任の教授・准教授の先生も徐々に増えております。さらに、DX 新棟と言う新しい建物も建設中です。

また、昨年から内閣府の地方大学・地域産業創生交付金による「次世代半導体をトリガーとした半導体の複合拠点の実現と地域経済の活性化」事業も始めました。現在、北海道大学と共に、次世代半導体の研究開発の他、半導体に係わる人材育成をすすめています。

この他、一昨年から北海道経済産業局が進めている「北海道半導体人材育成等推進協議会」の会員となり、昨年からは、次世代半導体の研究開発を行う日本の技術研究組合である「最先端半導体技術センター」(LSTC)に参加し、また文科省の事業である「半導体人材育成拠点形成事業」(enSET) のメンバ校として、半導体の人材育成を進めています。並行して、「北海道バレービジョン協議会」の会員として、石狩地区を中心に、北海道全域の DX・GX 技術の開発や普及に参画しています。この 4 月には北海道科学技術総合振興センターの事業である

「北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク」(HSFC)の参加大学にもなり、北海道で新しい事業を立ち上げたいと考える学生を支援するプログラムを、本学で始める予定です。

これらの事業すべてにおいて期待されていることは、国内外の大学や研究・教育機関との密接な連携による、事業の拡充・拡大です。そのため、4月から、新たに国際センターを立ち上げ、海外大学とのネットワーク強化を進める予定です。皆さんには、国内外の様々な機関に訪問し、最先端の知識を獲得できる多くの機会がありますので、是非、積極的に参加して頂きたいと思います。

多くを学び、多くの友が得られるよう、そして大きな夢に向かって、のびのびと実り多い学生生活を送られることを祈っております。

本日は本当におめでとうございます。

令和8年4月2日  
公立千歳科学技術大学長  
宮永喜一